

事務事業名 消防施設整備事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1180

施策：	20	防災・減災対策の推進	財務コード	01080103-02-458
基本事業：	03	消防体制の整備	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	消防団員数		担当課	危機管理課（消防）
			担当係	危機管理担当（消防）



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
消防施設		水道管の敷設にあわせ消火栓を設置する。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
消防水利を確保することにより、迅速に消火活動が行われ、火災による被害を軽減する。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
既存消火栓更新件数	箇所	8	6	4				
新規消火栓設置件数	箇所	0	0	5				
5. コスト								
事業費	計	千円	7,856	6,006	9,450	7,735		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	7,856	6,006	9,450	7,735			
正職員人工数	人工	0.05	0.05	0.05				
正職員人件費	千円	391	401	419				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	8,247	6,407	9,869	7,735			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況>筑紫野太宰府消防組合管内の消防水利の充足率は95.4%（令和4年度消防施設整備計画実態調査）である。引き続き、消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）に基づく消防水利を確保するように努め、水道管を敷設する際に水道事業者と協議を行い、消火栓の新設・更新を行う。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	なし	経年劣化による消火栓の不良箇所が発生している。
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり	
成果向上余地	大きい			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望） 消防法の規定により消防に必要な水利施設は市が設置し、維持管理することとされている。市街地等の拡大に伴い、消火栓の設置が必要な地域も拡大している。	
備考・特記事項 or 進行管理欄	